

## ■ 河 川

- 洪水による災害を未然に防止することはもとより、水と緑豊かな潤いのある水辺を創出したり、周辺景観や個性あふれるまちづくりとの連携を図りながら、河川の改修を進めています。



- 平成13年4月5日に34年ぶりに名称が復活した釧路川（旧釧路川からの名称変更）では、住民の意見を取り入れた地域と密着した河川事業を推進しています。

### 自然と文化を未来につなぐ川づくり

『釧路川』は、勾配が緩く流水が滞水するため、豪雨や満潮の際にはこれまでたびたび氾濫し、洪水被害をもたらしてきました。

このため、堤防や護岸の新設や河道掘削などの対策を進めています。

また、釧路川沿岸はフィッシャーマンズワーフや幣舞橋、花時計などに代表される数々の観光スポットや夕日を眺められる絶好のポイントとして知られ、釧路川を散策で楽しむ方が多く訪れます。

このため、「釧路川ふるさとの川整備事業」により市の公園事業と連携して整備を行い、市中心部の憩いの場となっております。



【釧路川(釧路市)】

### 豊かな自然環境と調和した川づくり

『春採川』では、河口の閉塞により引き起こされる内水の氾濫や、高潮等による災害の発生を防止するとともに、市民に親しまれている春採湖の水質の保全と改善に、市と連携して取り組んでいます。また、『久著呂川』では、近年、面積が減少し乾燥化など質的变化が懸念される釧路湿原の自然環境の保全・再生のため、河床低下の進行を防止し河道を安定させるため、落差工や帯工などの整備を進めています。



【久著呂川(標茶町・鶴居村)】



【春採川(釧路市)】

## 洪水被害の解消、多様な水需要への対応

平成25年9月の豪雨により、釧路町別保地区で浸水被害が発生しています。被害を軽減し地域住民の安全・安心のために別保川などの河川整備を進めています。



【別保地区の浸水状況(釧路町)】



【庶路ダム(白糠町)】

庶路川の洪水調節及び釧路白糠工業団地への工業用水の供給を目的とした庶路ダムが平成16年10月に完成しました。



洪水時の観測に特化した小型で低コストな危機管理型水位計が開発されたことから、これまで水位計がなかった河川に順次、危機管理型水位計を設置し、一定の水位を超過したときにリアルタイムで水位の情報を発信できるようになりました。



【阿寒川の危機管理型水位計(釧路市)】